

「た要望に添える」
 開拓の状況は。
 社の既存技術を生
 徒来と異なる業種
 できないか考えて
 太陽電池など伸び
 に売り込みたい」
 ヨットプラスチック

聞く

(おわり)

合的に提供している。こ
 ンドを大事にして、地道
 な提案活動を続け、当社
 の方針をベースに製品だ
 けでなく加工プロセスを
 提案する。また安価な海
 顧客が最初に相談して
 外製品に勝つために、汎
 用存在にしたい」

成長事業の
 スピード課題

新東工業
 の製造装置
 事業と富士
 機械製造の
 工作機械事
 業は、設備
 投資を抑えている自動
 車関連の比率が高い点
 に速めるかが課題だ。
 (名古屋、鈴木隆宏)

CS向上しシェア維持

援して顧客満足度(C
 S)を高め、世界シェア
 30%を維持する。また、
 新規事業開拓を進める。
 (太陽光発電などの)新
 低5年をはかるだろう。

エネルギー関
 連設備の製造
 装置関連機器
 を現在、開発
 中。成長が見
 込める新エネ
 ルギーの分野
 に当社がかか
 われるように

このため規模を縮小する
 つもりだ。早期に工作機
 械事業部門から人員の一
 部を表面実装機器事業に異
 動させる。ただ、どの程
 度の規模にするかは慎重
 に決める。需要回復期に
 すぐに攻勢をかけられる
 体制は残しておきたい」

機械・ロボット

型締め力	09年(1-12月)台	23
1ト〜19ト	(¥58.9)	2,51
20ト〜99ト	(¥41.1)	2,37
100ト〜199ト	(¥40.0)	1,38
200ト〜499ト	(¥40.4)	28
500ト〜999ト	(¥44.8)	5
1000ト以上	(¥77.1)	6,83
合計	(¥42.3)	※力

東京彫刻工業

小型刻印機で海外進出

シンガポール現法拠点に

東京彫刻工業(東京都墨田区、花輪篤徳社
 長、03・5611・777)は、小型刻印
 機で海外市場に参入する。アジアや欧米向け販
 売拠点としてこのほど、シンガポールに現地法
 人を設立。世界を見据えて開発した低価格の小
 型刻印機の販売を今春までに始める。国内の関
 連市場が縮小する中、海外市場を開拓して事業
 拡大につなげる。初年度は国内外で計約300
 台の販売を目指す。

1に入る日系企業にプレ
 ス加工などを外注するな
 どして生産コストを抑
 え、低価格を実現した。
 同社は会社のロゴや製
 造番号などを刻む刻印の
 金型や刻印機を製造・販
 売している。取引先の約
 半分は自動車関連で、受
 注生産が約6割を占め
 ている。

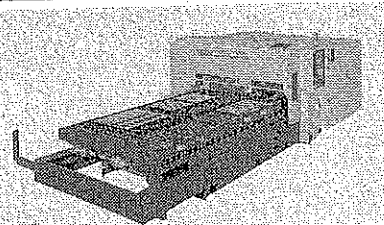
百台という最低記録があ
 るものの、それ以来の低
 水準となった。
 09年1月に月間受注台
 数142台という過去最
 低記録を更新。その後、
 弱めに見えており、年間9
 000台弱という予測に
 なるのではないかと(業
 界筋)としている。
 09年12月単月の受注実
 績は、前年同月比で5・

H22.1.29

型機で国内外とも需要が
 回復。「発光ダイオード
 (LED)生産に使うた
 て型機で大口のスポット
 受注があったようだ」
 (同)としている。

09年4月期の売上高
 は約2億3000万円。
 国内の刻印関連市場の
 縮小に危機感を抱き、約
 5年前から独自製品の開
 発に着手。刻印専門メー
 カーとして生き残るため、
 海外展開を目指してき
 た。

価格優位性を武器に売
 上高の海外比率を「3年
 後には約半分まで高めた
 い」(花輪社長)として
 いる。



自動で

ヤマザキ
 マザック

シンガポール現法は同
 社製品のみを海外向けに
 提供する販売拠点。
 海外市場に投入する小
 型刻印機は「マークンボ
 ックス」。鉛筆のような
 細い棒を高速で連打し、
 金属に日本語や英数字な
 どの文字を刻む。価格は
 1台52万2900円で、
 同社が輸入販売する欧州
 製品より2〜3割安い。
 東京彫刻工業は昨年、
 約700万円を投じて中国
 ・広東省の深圳テクノセ
 ンター内に組立工場を設
 立した。同刻印機の生産
 能力は月50台。同センタ

日工会、2月工作
 機械受注予測DI
 内需不透明で
 0・4割減少

日本工作機械工業会が
 まとめた1月の工作機械
 短期受注観測調査による
 と2月の工作機械受注予
 測DI(「増加が良い」
 と答えた企業の割合から
 「減少が悪い」と答えた
 企業の割合を引いた値)

内需は1・4割悪化し
 好23・5、外需は4・7割
 改善の6・3。外需は欧州
 が好13・2、北米が好12・
 5と依然2ヶ々のマイナ
 スだが、アジアが15・9と
 上昇傾向にあることが全
 体を牽引。内需のうち一

	10年1月(足元)	10年2月(先行き)	方向感
①業況に関する判断			
会社全体の業況	¥16.2	¥14.7	↘
工作機械事業の概況	¥23.5	¥22.1	↘
②工作機械受注の先行き予測			
受注総額	¥7.4	¥7.8	↗
内 需	¥22.1	¥23.5	↗
外 需	1.6	6.3	↗
③内需業種別			
一般機械		¥17.9	↗
自動車		¥18.8	↗
電気・精密		¥13.6	↗
④外需地域別			
アジア		15.9	↗
欧州		¥13.2	↗
北 米		¥12.5	↗

※日工会の会員企業を対象にしたDI。¥はマイナ
 ス。内需業種別と外需地域別の方向感の前月

は好13・6と、2ヶ々々
 マイナスが続いている。